



2009年11月5日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 野木森 雅郁  
コード番号 4503  
(URL <http://www.astellas.com/jp>)  
東 証 ・ 大 証 ( 各 第 一 部 )  
決 算 期 3月  
問 合 せ 先 広報部長 河村 真  
Tel : ( 0 3 ) 3 2 4 4 - 3 2 0 1

## 生物工学研究所の移転に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社（社長：野木森雅郁、以下「アステラス製薬」）は、このたび、愛知県清須市（清須事業場）にある生物工学研究所の機能をつくば市東光台地区にある、つくば研究センター（東光台）に移転するとともに、清須事業場については移転完了後に閉鎖することを決定しましたので、お知らせいたします。

生物工学研究所は、醗酵天然物由来の医薬品や抗体医薬品の原薬製造プロセスに関する技術開発を担っています。このたびの生物工学研究所のつくば研究センター（東光台）への移転は、隣接するつくば研究センター（御幸が丘）の創薬研究機能と製造プロセス研究との緊密な連携を図ることによって、新薬創出力の一層の向上とスピードアップのための体制を更に強化するために実施するものです。

生物工学研究所のつくば研究センター（東光台）への移転は、2010年度から2011年度にかけて段階的に進めていく予定です。また、このたびの移転にともない、つくば研究センター（東光台）に製造プロセス研究のためのパイロット実験設備や抗体医薬品開発用の原薬製造設備の導入などを計画しており、設備投資額は約70億円を予定しています。なお、清須事業場については移転完了後、2012年度中に閉鎖する予定です。

アステラス製薬は、合成低分子や醗酵天然物を中心とした創薬研究に加えて、抗体医薬の基盤強化も進めています。当社では今後、つくば研究センター（東光台）を醗酵や抗体などバイオ医薬品に関する工業化研究の拠点と位置づけるとともに、創薬研究と製造プロセス研究の連携強化を図り、新薬創出力の一層の向上を目指していく考えです。

以 上